

探究ワーク1 1941 年に日本政府は何を優先したのか

指導案・生徒用ワークシート(25 分)

探究ワーク:1941年に日本政府は何を優先したのか

前の3つの資料(日米国力比較、石油の枯渇危機、ABCD包囲陣)を読み解き、1941年当時の日本政府が何を最も重要だと判断し、行動に移したのかを推測してみましょう。

問1:日本政府が重視した項目を順位付けする

以下の項目から、当時の日本政府が特に重視していたと考えるものを5つ選び、1位～5位まで順位をつけてください。その根拠も記述しましょう。

判断基準の候補	あなたの優先順位	根拠となる資料・理由	日本政府の優先順位	その根拠
国民の生活を豊かにする				
石油などの資源を確保する				
経済・産業を維持する				
軍事力を強化する				
国の安全を守る				
中国での権益や影響力を維持する				
東南アジアへの進出拡大する				
中国との戦争を終結させる				
国際社会での立場や威信を守る				
アメリカとの戦争を回避する				
将来の国力や経済発展を守る				
国民への被害をできるだけ少なくする				
戦争で負けないという信念				

問2:さらに深く考える

1. 1位にした判断基準を守るために、当時の日本では何が犠牲にされると考えられますか。

2. 「アメリカとの戦争を避けること」は、当時の日本政府の判断基準の中で何位くらいだったと考えられますか。

3. もしあなたが1941年の日本政府の立場なら、上の順位をどのように変えますか。

4. 当時の日本政府の順位と、あなたの順位の違いはどこにあり、なぜ違うのでしょうか。



© Qspace-llc 無断複製・転載を禁じます

自分の優先順位と、当時の日本政府の判断を資料から比べ、
何を守り、何を失うことを恐れたのかを考える。

探究ワーク1:1941 年に日本政府は何を優先したのか

学習指導案 中学生・高校生対象 25 分 A4 2 枚

自分が重視する項目と、資料から推察した当時の日本政府の優先順位を比較する。順位の一致ではなく、資料を根拠に判断の背景や葛藤を説明することを目指す。

1 本時の目標と準備

①13 の判断項目から5つを選び、自分の順位と理由を示す。②石油・外交・軍事・生活などの関係から政府の判断を推察する。③両者の違いを振り返り、戦争に向かう判断と沖縄戦への問いにつなげる。

準備:提供スライド、ワークシート1枚、筆記用具、根拠となる映像・資料。前の3資料(日米間の対立、石油の消費量、ABCD 包囲網)を事前に確認する。25 分は探究の時間とし、視聴・基礎説明は別途確保する。

2 本時の展開 25 分

時間	学習活動	教員の働きかけ・指導上の留意点	学習の狙い・評価
5 分	第1段階 個人で判断 13 項目から5つ選び、自分の優先順位1～5位と理由を書く。	「自分が 1941 年に判断するなら」と説明する。資料を見直し、後の結果だけで順位を決めない。 発問①「まず何を守りたいですか」 発問②「なぜ、その項目を上位にしましたか」 声かけ「全項目に順位を付けず、5つ選ぼう」	狙い:自分の判断基準を明確にする。 評価:順位と理由を示せるか。
8 分	第2段階 グループで推察 日本政府が重視した5項目と順位を、資料から考えて書く。	最初の2分で各自の見方を伝え、次の4分で資料を確かめて政府の順位を検討する。最後の2分で各自が順位と根拠を記す。迷う班には「石油」「譲れない条件」「失う恐れ」のヒントを一つ示し、資料に戻す。 発問①「どの資料がその順位の根拠ですか」 発問②「何を失うことを恐れたのでしょうか」 声かけ「意見が違う時は、根拠を比べよう」	狙い:当時の判断を根拠から推察する。 評価:資料と順位を結びつけるか。
7 分	4つの問いに文章で解答 自分と政府の順位を比べ、背景と判断基準の違いを書く。	1問約1分半、残り1分で根拠や理由を加える。資料にない点は推察と分かる表現にする。 発問①「守るもの同士が対立していませんか」 発問②「戦争回避より重く見たものは何ですか」 声かけ「順位の違いを、理由まで説明しよう」	狙い:選択の背景と葛藤を説明する。 評価:比較・根拠・理由があるか。
5 分	再共有と現地の問い 3分で考えを共有・加筆し、2分で問いと確かめ方を書く。	政府の判断が住民の生活にどうつながったかを考えさせる。 発問①「他の考えから何を加えましたか」 発問②「沖縄の現地では何を確かめたいですか」 声かけ「判断と人々の経験をつなぐ問いにしよう」	狙い:考えを更新し現地へつなぐ。 評価:加筆と問い・方法があるか。

指導上の留意点 3 ポイント

①政府の判断を説明することと、その判断を支持することを分ける。②「当時は仕方なかった」「戦争しかなかった」と決めつけず、別の選択や失われるものも検討する。③政府・軍部の意見を一つにまとめず、順位は資料に基づく推察として扱う。

到達のイメージ

資料を根拠に政府が守ろうとしたものと失う恐れを説明し、自分との判断基準の違いを示す。戦争に向かう判断が人々の暮らしへ及ぼした影響について、現地で確かめる問いを持つ。

1941 年の判断を考える授業の支援

3 課題とヒントの使い方

問1では 13 候補から5項目を選んで順位を付ける。自分の順位と理由を書いた後、政府が重視したと考えられる順位と資料の根拠を記す。グループの結論に必ず合わせる必要はない。

判断を深める6つの視点

- ①石油不足で何が難しくなるか：国民生活だけでなく、工場・船・飛行機・軍隊との関係を資料から確かめる。②どこまで譲るつもりだったか：対米提案と相手の要求を比べ、譲れる条件と譲れない条件を分ける。
- ③受け入れにくい要求は何か：中国からの撤兵、三国同盟、通商関係など、資料に示された条件を具体的に確認する。④敗戦の可能性があっても開戦へ向かった理由は何か：戦争回避より重く見たものや、待つことで失うと考えたものを探す。
- ⑤生活・国力・軍事力・威信は同じ方向か：一つを守ることで別のものが犠牲になる可能性を考える。⑥何を失うことを恐れたか：「これを失うくらいなら、戦争の危険を受け入れてもよい」と考えた可能性を、資料と照らして検討する。

4 さらに深く考える4つの問い

- ①最上位の項目を守るために何が犠牲になるか。国民生活、安全、経済、外交関係などへの影響を考える。守るものと失われるものを、資料の根拠とつないで説明させる。
- ②「アメリカとの戦争を避ける」は、判断の中でどの位置だったのか。5項目に選んだかどうか、ほかの項目と比べてどれほど重視したと考えたかを書く。
- ③自分が 1941 年の政府ならどうするか。第1段階の順位を見直してもよい。どんな利益や危険を伴う判断かも考える。
- ④自分と政府の順位の違いから、何を重視することが分かるか。知識や情報、立場、守りたいものの違いに着目し、自分の判断基準も振り返る。

5 学級に応じた進め方

プラン	進め方と時間配分 合計 25 分	特徴と支援のポイント
1 協働型	自分の順位5分 → 政府の順位を対話8分 4問の文章化7分 → 再共有・問い5分	導入期向け。教員が資料の位置を示し、理由を比べるよう促す。各自が順位と根拠を書き、同じ答えにそろえない。
2 併用型	資料確認5分 → 個人で2段階整理7分 グループ共有8分 → 加筆・問い5分	先に自分で両方の順位を考える。共有で根拠を補い、4問はメモから解答を加筆する。
3 自立型	資料確認5分 → 個人で整理・解答7分 文章を比較8分 → 書き直し・問い5分	探究に慣れた学級向け。根拠が薄い順位や、見落としした条件を確認する。初めの判断を残し、修正理由を示す。

6 評価と現地学習への接続

評価：順位の正誤ではなく、①資料に基づく理由、②利益と犠牲の両面、③自分と政府の比較と加筆を見取る。現地では、開戦後に沖縄の人々の生活や動員、避難がどう変わったかを展示・証言から確かめ、政府の判断と住民の経験をつなぐ。

出典：提供スライド「探究ワーク：1941 年に日本政府は何を優先したのか」「考えるヒント：1941 年の優先順位」。当時の対立や見通しの具体的内容は、前の3資料で確認する。

沖縄平和学習映像教材
探究ワーク1 :1941 年に日本政府は何を優先したのか

年 組 番 名前 日付

問 1 2段階で優先順位を整理しよう

第1段階:自分が 1941 年に判断するなら、5項目を選び1～5位と理由を書く。
第2段階:資料から日本政府が重視した5項目を推察し、1～5位と根拠を書く。
選ばなかった項目は空欄でよい。同じ順位を複数に付けず、資料で確認したものと推察を分けよう。

判断項目の候補	自分の 順位	理由	政府の 順位	資料の根拠
国民の生活を豊かにする				
石油などの資源を確保する				
経済・産業を維持する				
軍事力を強化する				
国の安全を守る				
中国での権益や影響力を維持する				
東南アジアへの進出を拡大する				
中国との戦争を終結させる				
国際社会での立場や威信を守る				
アメリカとの戦争を回避する				
将来の国力や経済発展を守る				
国民への被害をできるだけ少なくする				
戦争で負けないという信念				

問 2 さらに深く考えよう

1 1位にした判断項目を守るために、当時の日本では何が犠牲にされと考えられますか。

2 「アメリカとの戦争を避ける」は、当時の日本政府の判断の中で何位ぐらいだったと考えますか。

3 もしあなたが 1941 年の日本政府の立場なら、上の順位をどのように変えますか。

4 当時の日本政府の順位と、あなたの順位の違いはどこにあり、なぜ違うのでしょうか。

現地で確かめたい問いと確かめ方

どこで、何を見たり聞いたりすると確かめられそうですか。